

知床五湖地区における取組の進捗状況

トピック

1. 昨年に比べて、知床五湖におけるヒグマ活動期におけるヒグマ出没回数が減少し、遭遇回数は12回（うちツアー中止判断3回）（前年56回（うちツアー中止判断38回））であり、ヒグマ活動期間中の地上遊歩道の立入者数は登録引率者を除き7,146名（7月22日時点前年比16%増）であった。
2. 5月9日までの植生保護期は、例年にない積雪のため、4月28日から地上遊歩道は閉鎖となり、期間中の地上遊歩道の利用者は計173名（前年比95%減）であった。

1. 知床五湖利用調整地区制度の運用

- ・平成25年4月19日から知床五湖利用調整地区制度が運用中である。
地上遊歩道の利用者は5月10日から7月31日までのヒグマ活動期に8,293名（登録引率者を除き7,146名、7月22日時点前年比16%増）、開園の4月20日から5月9日の植生保護期に173名（前年比95%減）、両期間を合わせて計7,319名（前年比27%減）であった。
- ・制度期間中のヒグマ遭遇による地上遊歩道閉鎖は、ヒグマ活動期に3回（前年度38回）あり、ヒグマ起因による地上遊歩道の終日閉鎖日は0日間（昨年は、8月の植生保護期まで含めて19日間）となった。
- ・ヒグマ活動期には登録引率者による引率が行われ、ヒグマとの危険な遭遇事案は発生しなかった。5月9日までの植生保護期は、例年にない積雪のため、4月28日から地上遊歩道は閉鎖となり、GW中の地上利用歩道利用者はゼロであった。
- ・制度期間中の知床五湖駐車場の利用車両台数は21,493台（バイク1031台含む、4月19日～7月22日）であり、前年同期比3%減であった。高架木道利用者数は4.8万人（4月19日～6月30日）と前年同期比増減なしとなり、特に積雪による地上遊歩道閉鎖中のGWにおいて、高架木道の機能が発揮され来訪者の利用機会の提供が確保された。

※上記の値は、現時点での速報値であり、今後の精査の結果修正される可能性があり得る。

2. 知床五湖の利用のあり方協議会の開催状況

平成25年4月15日に協議会を開催した。

<主な決定事項・討議事項>

- ・指定認定機関の平成24年度収支報告を行った。
- ・平成26年度以降の知床五湖利用調整地区制度の運用設定に係る基本方針を確認し、大枠としては現行の運用制度を維持しながらも、平成25年度の実験結果を一部反映した運用とするこ

とが決定した。

- ・引率者審査部会の会計規則を改定し、受講料等を新たに定めた。
- ・ヒグマ活動期における運用改定実験の実施要項、登録引率者新規養成希望者募集要領及び新規養成カリキュラムについて確認した。

3. 知床五湖登録引率者審査部会の開催状況

平成 25 年 3 月 19 日に登録引率者審査部会を開催し、討議事項等について知床五湖の利用のあり方協議会に報告した。

<主な決定事項・討議事項>

- ・登録引率者代表からヒグマ活動期におけるヒグマ遭遇時の中止・継続判断に関する提案があり、「ヒグマを見たら引き返す」を基本としながらも、「遭遇時に退避行動を行う必要がなく、ヒグマがその場から立ち去った場合にツアーの継続判断を行えるようにする」という運用をとることと、個別事例の蓄積と情報共有・意見交換に伴う管理者・引率者の認識の共有化を図ることの重要性が確認された。
- ・ヒグマ活動期における運用改定実験の実施要項について検討した。
- ・登録引率者の新規養成者募集要領について検討した。

4. 知床五湖登録引率者に係るその他の事項

- ・平成 25 年 4 月 24・25 日に登録引率者シーズン前研修を実施し、利用調整地区制度、既登録者向け研修カリキュラム、ヒグマ活動期の実験実施要項の説明及び当日受付の取り扱いと対応方針についての説明・確認を行った。
- ・平成 25 年 4 月 2 日～5 月 1 日までの期間、知床五湖登録引率者の平成 26 年度登録に向けた新規養成者を 10 名募集した結果、7 名の応募者があり、新規登録者養成カリキュラムに沿って現在研修を進めている。